

新年度の生活がスタートし、早くも十日余りが経ちました。授業も始まり、そろそろ新しいクラスの雰囲気慣れてきたところでしょうか。3年生は部活動において総決算の時期を迎えます。学校祭も近づいてきました。受験勉強も本格化し、両立は一層難しくなりますが、これを乗り越えようと努力することでしか、「品格あるリーダー」の素養は身につけません。弱音を吐かず、言い訳をせず、無理難題に果敢にチャレンジしてください。

学習習慣をチェックしよう！

さて、皆さんは授業に集中できていますか？ 言うまでもなく、日日の受験勉強の中心に据えるべきは、学校の授業です。一方で、教員に頼るだけでなく、「自立した学習者」になることも受験生には求められます。

先週、皆さんには、スタディーサポート（3月15日受験…最後のスタサポでした）の結果が返却されました。皆さんの学力&学習状況が分析された個表に目を通せば、自分の学習面での課題が浮き彫りになっているはず。その課題を克服するために、行動を起こすことができるか否かに、受験の成否はかかっています。

◆表：130回生 平均学力到達ゾーン(GTZ) & 学習時間

	1年次4月	1年次9月	2年次4月	2年次9月	3年次4月
国数英/国英/数英	A2/A3/A3	A3/A3/B1	A3/B1/B1	B1/B1/B1	B1/B1/B1
国語/数学/英語	A3/A3/A3	B1/B1/A3	A3/B1/B1	B1/B1/A3	B1/B2/B1
平日学習時間(*参考値)	78分(72)	74分(94)	65分(87)	69分(96)	110分(101)
休日学習時間(*参考値)	152分(115)	145分(164)	129分(154)	130分(165)	177分(178)

*参考値：難関大(GTZ:Sレベル)合格者の回答内容の平均値

修学旅行以降、少しずつ受験を意識し始めたのか、学習時間が伸び、平日&休日ともに入学以来最長となっています。ようやく「参考値」並みの学習時間に回復してきました。すぐに成果は出ませんが、粘り強く学習を継続することが大切です。

「成績優良者」「成績不振者」の3年生スタート時の学習習慣～スタサポ全国集計から～

【成績優良者】

- ◇ 毎日必ず時間に机に向かい、平日2時間、休日3時間以上の自主学習をしている。
- ◇ 受験に向け、前向きな気持ちで努力したいと思っている。
- ◇ 授業では板書だけでなく、重要だと思ったことはメモをとっている。
- ◇ 配布された教材を用いて、積極的に問題演習にも取り組んでいる。

【成績不振者】

- ◆ 学習にムラがあり、自主学習時間は平日・休日ともに1時間以下。
- ◆ 今後の自主学習の目標も、平日・休日ともに2時間以下。
- ◆ 受験勉強のスタートを先送りしている。
- ◆ 授業中は、ほぼ板書を写すだけ。
- ◆ 定期考査前でも、暗記ばかりで問題演習はほとんどしない。

129回生の担任からアドバイス

先週末の4月14日(金)に、3年新旧担任情報交換会が実施されました。その中で出た、129回生(昨年度の3年生)の担任や進路担当教諭からのアドバイスを、いくつか紹介します。皆さんの一学年先輩を、3年間指導した結果を踏まえた助言ばかりです。ぜひ参考にしてください。

- ✚ 英語が柱になっていない生徒は、ことごとく苦戦を強いられた。
- ✚ 早慶合格者はセンター英語で180点以上獲っている(英語力は難関大合格の必要条件)。
- ✚ センター試験で70%の得点が国公立大合格の目安(不動岡平均は64.5%)。
- ✚ 国公立大現役合格77名中、18名が中後期日程での合格(埼玉大は6/15)。前期不合格でも諦めずに、中後期まで粘ることが大切。
- ✚ 国公立志望者は地方にも目を向けると、合格の可能性が高まる。特に理系では、充実した教授陣、手厚い研究費、少人数教育、企業側からの高い評価等、国公立大のメリットは多い。
- ✚ センター試験出願時の登録科目を間違えた者3名。出願書類は、細心の注意が必要。
- ✚ 「〇〇大学に行きたい」という志望がある場合、その大学の複数学部を受験するべき。早稲田志望者で、教育・社会学・文化構想・商・人科を受験し、商のみ合格というケースあり。
- ✚ 生活のサイクルを乱さず、学校中心の学習を続けた者(休日や長期休業中も登校し、自学自習できる生徒)の合格率が高かった(cf.「塾依存型」で伸び悩む生徒多数)。
- ✚ 埼玉大学受験組(特に文系学部)は予想以上に苦戦を強いられた(→地方からの受験生増、ベネッセ駿台・河合塾の事前分析通り、受験はやはり情報戦!)
- ✚ 私立文系志望者で、最初から早慶を目指さない者は、GMARCHでも苦戦を強いられた。
- ✚ 第一志望の大学のみを想定して、古典・数ⅡB・地歴公民2科目目を捨ててしまったために、センター試験後の志望変更で苦労した生徒がいた(選択肢が極端に減ってしまう)。
- ✚ 自分に合った受験科目・配点の大学を志望することで、センター試験の判定D・Eから逆転合格した者が学年で20人ほどいた。
- ✚ 「押さえ校(=すべり止め)」の受験は重要。1月時点での出願の仕方を誤り、「全受験校に不合格→3月入試に追加出願」というケース多数。合格している大学があることで、その後の「実力相応校」「チャレンジ校」の受験に向けて、心理的負担を軽減できる。
- ✚ 部活を引退するまでが、ひとつのヤマ。11月ごろも精神的につらい時期。
- ✚ クラスで夏休み中の目標学習時間を450時間に設定。8割の生徒が400時間をクリア。
- ✚ 河合塾や駿台等の外部模試は積極的に受験すべき。試験だけでなく、電車に乗り間違えて遅刻等も、本番に向けての貴重な経験となる。
- ✚ 一日30分程の英語長文読解&音読でも、夏休み中毎日やれば莫大な量になる。

進路コラム:近年の入試動向から② ～センター試験後継原案から～

センター試験に代わる新テスト「大学入学希望者学力評価テスト」が、2020年度から導入されます(現中3生から対象)。英語では従来の「読む」「聞く」に加えて、「書く」「話す」技能をも含めた4技能を評価対象とし、国語では80～120字程度の記述式問題が新たに課されるようになります。

新テスト自体は、君たち130回生には直接関係ありませんが、こうしたトレンドはここ数年の大学入試問題にも前倒しで少しずつ反映され始めています。受験生にも、記憶力だけでなく、分析力・推測力・判断力、そして表現力が求められているのだということを知っておいてください。